



おはなしの

マッチばこ



私達は、おはなしのろうそくに
火をともす マッチです。

この箱が、さまざまなお話を
マッチで いっぱいになるように。
心をこめて送ります。

2月のストーリーテリング勉強会

2012年2月8日(水) 午前9:30~12:00

主催:高知県立図書館 参加者:13人

次回の勉強会は
3月14日(水)

9:30~12:00 です

場所:当館3階大会議室

今月のおはなし

1. クナウとひばり 7分

『おはなしのろうそく 20』(東京子ども図書館/編・発行)より

【語り手から】4年生に語りました。女の子がよく聞いてくれました。

2. ばかなハンス 11分

『世界の民話 14 ロートリンゲン』(小沢俊夫/編 ぎょうせい)より

【語り手から】緊張をほぐす運動を次の方がしてくれた。とても参考になり、関心を持ちました。

ちょっとお休み

どうどうめぐり どうどうめぐり かっちゃんこ

(首をぐるぐると回して...)

3. ゆきんこ 5~6分

『ストーリーテリングについて』(ユーラリー・S・ロス/[著] 山本まつよ/訳
子ども文庫の会)より

【語り手から】この季節に1、2年生の子どもたちによく聞いてもらいます。2月に初めて4年生にも聞いてもらいました。

4. 北風に会いにいった少年 12分

『おはなしのろうそく 13』(東京子ども図書館/編・発行)より

【語り手から】行きつ戻りつの距離感とか、少年の気持ちを思って語ったけれど、うまく語れませんでした。

5. 十二人兄弟 15分

『子どもに語るグリムの昔話2』(佐々梨代子、野村法/訳 こぐま社)より

【語り手から】独りで練習していたときには話のメリハリが掴めなかったけれど、みなさんに聞いてもらって自分自身も楽しめました。

6. ねずみの小判干し 16分

『おはなしのろうそく 26』(東京子ども図書館/編・発行)より

【語り手から】何年ぶりかでひきなおしました。自分流の東北なまりで、聞きづらくないか心配でしたが、楽しんでくださってうれしかったです。

※おはなしの所要時間は、語り手の自己申告によるものです。